

平成 23 年度の新たな挑戦を始めました

5 月 9 日（土）開催の平成 23 年度理事総会の冒頭、去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災によりお亡くなりになりました方のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、被災されました皆様方に対するお見舞いの気持ちを抱いて議事を始めました。

昨年度（平成 22 年）は、中期計画策定初年度としてジュニアヨットクラブの活動支援強化や安全対策の充実、資格取得講習会の実施による人材育成、さらにメンバー登録や団体の増加策の推進による組織強化など、13 の具体的目標がほぼ達成出来た事を確認しました。

府連 65 周年を迎える平成 23 年度は、J S A F 組織運営システムの改変やゴールドプランⅡの策定からユースの艇種問題などの諸課題と連動してより広い視点で活動を展開する。選手の活動では、京都府連からロンドンオリンピックのレーザー級での出場を目指す安田真之助選手を全力で支えると共に、11 月イタリアで開催される R S : X 級ユースワールドに出場する由里汐里選手を支援する等、より高いハードルへの挑戦成果を結実させて水域の発展に繋げてまいります。

未曾有の災害を蒙った「東北水域の早期復興を成し遂げなければ日本セーリング競技の発展は望めない」との危機感と強い連帯感を持って本年度活動を推進いたします。

皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

平成 23 年 5 月 9 日

会 長	中 山	明
副 会 長	岩 寄	勝
副 会 長	武 市	進 作
理 事 長	坂	文 彦
副 理 事 長	名 倉	孝
副 理 事 長	永 安	洋 二 郎